BEST AVAILABLE COPY

[54] Title of the Invention: Power Supply Circuit

[11] Japanese Utility Model Laid-Open No.: 59-84613

[43] Opened: June 7, 1984

[21] Application No.: 57-178316

[22] Filing Date: Nov. 25, 2005

[72] Inventor(s): Y. Katayama

[71] Applicant: NEC Corporation

[Claim]

A power supply circuit comprising:

A main power supply unit outputting a stabilized power only when a power switch is turned on;

a sub power supply unit receiving said power to output a stabilized power having a level lower than a level of said power;

a first diode connected in a forward direction with an output of said main power supply unit; and

a second diode connected in a forward direction with said sub power supply unit,

wherein outputs of said first diode and said second diode is used for an ordinary driving, and an output of said main power supply unit is used for a start-up driving.

[Brief Description of the Drawings]

The figure is a circuit diagram of a power supply circuit of an exemplary embodiment of the present invention.

{Reference Numerals}

- 1 Power Supply Circuit
- 2 Main Power Supply Unit
- 3 Sub Power Supply Unit
- 4 Ignition Switch
- 5 Power Supply
- 6, 7 Diode
- 8 Electronic Speed Meter
- 9 Electronic Trip Meter

公開実用 84613 昭和 59

(19) 日本国特許庁 (JP)

①実用新案出願公開

母 公開実用新案公報 (U)

昭59—84613

௵Int. Cl.3

識別記号

庁内整理番号

A 7828-5G

@公開 昭和59年(1984)6月7日

G 05 F 1/56 H 02 J 7/00

9/06

8023-5H E 8123-5G

審査請求 未請求

(全

邻電源回路

大阪市北区梅田1丁目8番17号

頁)

新日本電気株式会社内

沙実 ②出 額 昭57-178316

願 昭57(1982)11月25日

作出 願 人 日本電気ホームエレクトロニク

ス株式会社

你考 案 者 片山泰臣

大阪市北区梅田1丁目8番17号

- 考案の名称
 電源回路
- 2. 実用新案登録請求の範囲

電源スイッチのオン時のみ作動して安定化された電源出力を発生する主電源部と、電源出力を直接入力することにより前記主電源部よりも低いレベルの安定化された電源出力を発生する副電源部と、前記主電源部の出力側に順方向に接続された第2ダイオードとを設け、この第1、第2ダイオードの出力を一括して常時駆動用電源とし、かつ前記主電源部の出力を電源投入駆動電源として用いる電源回路。

3. 考案の詳細な説明

技術分野

本考案は電源スイッチのオフ時にパックアップ 用の電源を出力する電源回路に関し、特にパック アップ時に於ける電流を少なくすることが出来る 電源回路に関するものである。

公開実用 昭和59一84613

背景技術

電源スイッチのオフ時にパックアップ電源を必 婆とする回路としては例えば自動車の電装装置が ある。そして、この電装装置の中には、電子スピ ードメータ回路、タコメータ回路および電子点火 制御回路等のように電源スイッチとしてのイグニ ッションスイッチの投入時のみ作動する電源投入 時作動回路と、電子積算距離回路、電子トリップ 回路、時計回路および電子点火制御用データ保持 回路等のようにイグニッションスイッチのオフ時 に於いても作動し続ける必要のある常時作動回路 とが含まれている。とのために、電源投入時作動 回路と常時作動回路とによって構成される電装装 **置を感動する電源回路は、イグニッションスイッ** チの投入時のみ作動する主電源部と常時作動する 副電源部とによって構成されており、主電源部の 出力を電源投入時作動回路と常時駆動回路の表示 駆動系に供給し、副電源部の出力を常時駆動回路 のメモリあるいは計時部分に常時駆動用の電源と して供給している。

しかしながら、上記構成による電源回路に於いては、副電源部が常時駆動回路の常時駆動用の電源を専門に担当する構成となっているために、副電源部として容量の大きなものが必要となって、面でなり、かつ副電源スイッチ)のオフ時にかっている。

考案の開示



従って、本考案による目的は、主電源がオフの 状態に於いては、常時駆動回路の常時駆動用電源 の消費が大幅に低下することに着目して副電源部 を小容量化し、これに伴なってコストダウンとバ ックアップ時に於ける消費電流の低下を行なうも のである。

このような目的を達成するために本考案は、電源スイッチのオン時にのみ作動して安定化された 主電源を出力する主電源部と、前記電源スイッチ の入力側から供給される電源を入力として前記主

公開実用 昭和59-84613

電源よりも多少低い電圧に安定化された副電源を出力する副電源部とを有し、この副電源部の出力をそれぞれ回り込み防止用のダイオードを介して常時駆動回路に常時駆動電源の指するとにより、常時駆動電源の消費を開放が増大する主電源のオン時には主電源部の出力を開放動電源として、副電源部には常時駆動電源の供給して、副電源部には常時駆動電源の供給して、副電源部には常時駆動電源の供給のみを担当させて小容量化したものである。

このように構成された電源回路に於いては、副 電源部の容量を従来に比較して大幅に下げられる ことから、副電源部の小型化およびコストダウン が計れるとともに、電源スイッチのオフ時に於け る消費電流が低下してバッテリーによるバックア ップに適したものとなる優れた効果を有する。

考案を実施するための最良な形態

図は本考案による電源回路の一実施例を示す回 路図であって、特に自動車の電装装置に用いた場 合を示してある。同図に於いて1は電源回路であ って、主電源部2と副電源部3とを有している。 主電源部2は電源スイッチとしてのイグニッショ ンスイッチ4を介して供給される電源5の出力を ダイオード2aを介して入力とするレギュレータ2b と、このレギュレータ2bの入力側と出力側にそれ ぞれ設けられた平滑用のコンデンサ2c,2dとによって構成されており、電圧 El の電源出力Aを発 生する。

一方、剛電源部 3 は、ダイオード 3a を介して供給される電源 5 の出力を分圧する抵抗 3b, 3c と、抵抗 3b, 3c による分圧出力を定域圧化するツェナーダイオード 3d および平滑用のコンデンサ 3e とによって構成されており、電圧 B1 よりもわずかに低い値の電圧 B2 の電源出力 Bが送出される。そして、主電源部 2 および副電源部 3 から発生される電源出力 A, Bはそれぞれ回り込み防止用のダイオード 6,7を介して電源出力 B'として出力される。8は電源投入時駆動回路としての電子スピードメータであって、スピード演算部 8a に於いて算出されたスピード信号をデー

公開実用 昭和59-84613

このように構成された回路に於いて、イグニッションスイッチ 4 が開かれている場合には、電源5 の出力が副電源部 3 のみに供給される。従って、副電源部 3 はダイオード 3 a を介して供給される電源5 の出力を抵抗 3 b, 3 c に於いて分圧することにより電圧を落し、この分圧出力をツエナーダイオ

次に、イグニッションスイッチ 4 が閉じられると、電源 5 の出力がダイオード 2 8 を介してレギュレータ 2 b に供給されることにより、定電圧化されて主電源部 2 から電圧 E1 の電源出力 A が発生される。この電源出力 A は電源投入駅動電源とし

公開実用 昭和59一84613

て電子スピードメータ8のスピード演算部8a およびスピード表示部8b に供給されるために電子スピードメータ8が作動してその値がスピード表示部8b に表示される。また、この電源出力A は電子走行距離メータ9の走行距離演算部8a に電源投入駆動電源 V DD として供給されるために、走行距離データの保持動作から走行距離の演算動作に移行してその算出値を出力する。また、走行距離表示部9b も電源出力 A を電源として作動するとにより、データバスDBを介して走行距離演算部9a から供給される走行距離データを表示する。



ことで、走行距離演算部9aは、前述したよりに電源投入駆動電源 VDD の供給に伴なって走行距離データの保持動作から走行距離の演算動作に移行すると、常時駆動電源 Vco の電流値が増加するが、電源出力 A の電圧 E1 と電源出力 B の電圧 E2 との関係が E1 > E2 であることから、ダイオード7がカットオフされて電源出力 A が電源出力 B'として出力されることになる。従って、イグニッションスイッチ 4 の投入時においては、副電源部3

の出力は何ら使用されないことになり、この副電 源部3は常時駆動電源の電流値が最も少なくなる イグニッションスイッチ4のオフ期間に於いての み使用されることになる。この結果、副電源部3 は従来に比較して十分に小容量化された回路で良 いことになり、これに伴なってコストダウンおよ び小型化が計れるとともに、電源スイッチのオフ 時に於ける電力消費が低下してパッテリーを電源 とする装置に適したものとなる。

4. 図面の簡単な説明

図は本考案による電源回路の一実施例を示す回 路図である。

1 … 電源回路、2 …主電源部、3 …副電源部、

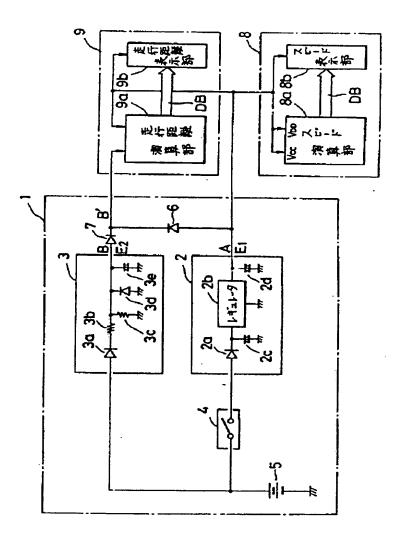
**'4 …イグニッションスイッチ、 5 … 電源、

6,7 …ダイオード、8 …電子スピードメータ、

9 …電子走行距離メータ。

代表取締役

実用新案登録出願人 新日本電気株式会社



144

III都人 新日本電気株式会社

化设置 指一本 米 圆

This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

BLACK BORDERS
☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
☐ FADED TEXT OR DRAWING
☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
\square LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
□ OTHER:

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.